

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 主に水稻経営が展開されている平地農業地域。
- 労働力不足が課題となる中、担い手への農地の集積と集約化の促進、意欲ある担い手の創意工夫を支援し、農業の持続的な発展を目指す必要がある地区。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営規模拡大に対応し、農地の集積・集約を図るとともに、農業所得の安定的な確保を支援する必要。
- 助成対象者は大規模水稻経営を営んでおり、周辺農家からの作業受託等により荒廃農地の発生防止に努めながら、スマート農業等先端技術の導入により作業効率の飛躍的向上に取り組む等、持続可能な農業経営を実践。よって、大規模水稻経営のロールモデルとして更なる経営強化を支援。



助成対象者「株式会社おしの農場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成8年 経営移譲
- 平成30年 法人化(株式会社)
経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 経営規模拡大と農業所得の安定的な確保を図るためには、作業の効率化と徹底した品質管理が必要。よって、自動操舵やICT及びクラウドサービスによる情報の管理・活用を可能とする高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】 〈R3年度〉		【現在の経営状況】 〈R5年度〉
○付加価値額 56百万円	《事業による整備内容》 ○トラクター(自動操舵機能付き) 1台 事業費 18,132千円 (国費 8,241千円) ○田植え機(自動操舵機能付き) 一式 事業費 4,368千円 (国費 1,985千円) ○コンバイン(食味・収量センサー付) 一式 事業費 15,265千円 (国費 6,938千円) ○粃摺り機 一式 事業費 5,508千円 (国費 2,503千円)	○付加価値額 91百万円 (163 %)
○経営面積 95.0ha (水稻、大豆)	  	○経営面積 119.3ha (126 %) (水稻、大豆)
○輸出米 960kg		○輸出米 960kg (100%)

事業の
効果

《対象者》 スマート農業の導入により更なる作業の効率化・省力化が実現し、経営規模及び付加価値額が拡大。また、可変施肥技術の活用により反収が増加するとともに米の食味向上。

《地 区》 担い手の生産体制強化により地区内の農地集積・集約が進展。地域農業の維持に寄与。